

大分教育事務所訪問②-29 (計 102)

臼杵市立下北小学校に学ぶ2

学校経営から学ぶ

今回の訪問で感じたことは子ども達の劇的な成長(変容)です。本校は、学校の教育目標を達成するため、育成を目指す(教科横断的な)資質・能力を、「ルールを守って『聞く』力(の習得)+関わり合いながら『聴く』力(の育成)→わかり合い、認め合う力」と、これまでの実践の成果から焦点化しました。このことにより、本校が目指す聞く(聴く)力の共通理解が深まり、人間関係づくりプログラムと特別支援教育の視点を両輪に教育を行うことが徹底され、SSTやSGE等の取組指標を目的をもって行うようになったそうです。

上位目標(目的)と手段が明確になると、分掌組織(3部会)が機動的になり実践を短期で検証されるようになります。さらに主任同士の連携が行われることで、職員会議が減り働き方改革にもつながっているようです。このように、目標達成マネジメントと組織マネジメントが連動したことが、子どもの健やかな成長につながっているのだと思いました。

授業から学ぶ

特別支援教育の視点をもって授業改善を行っているので、多くの授業で相手を意識した発言や、相手の話しを共感的に聞く姿をみました。

今後は、指導案の「めあて」については、本時で目指す「活動のゴールの姿」や「ゴールとそれまでの道筋」となることを確認したり、「振り返り」は教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」でより具体的に表してみたりしてはいかがでしょうか。

そして、互見授業等で教師が考えた「振り返り」と子どもが実際に書いたものとの違いや、「めあて」との連動、評価規準との整合性について協議することで、授業改善がより推進されると思いました。



NO.448 2021年10月 臼杵市立下北小学校

ありがとう

教えてくれてありがとう。
わかってくれてありがとう。
友達の正解に自然と拍手をしています。



NO.451 2021年10月 臼杵市立下北小学校

挙手の連鎖

学ぼうとする教室の空気が、
私に勇気を与えてくれる。



NO.452 2021年10月 臼杵市立下北小学校

上げるスピード

もっと学びたいから、いろいろな人の考えを知りたいから、私たちが授業のスピードを上げる。



NO.449 2021年10月 臼杵市立下北小学校

安心・安全

友達は並んで応援してくれる。
バットは定位置に置かれている。
だから、思いっきりプレーできる。



NO.450 2021年10月 臼杵市立下北小学校

見る・考える

予測する。実際に測ってみる。
目盛りを読む。考えながら学ぶから集中できる。